



受けることが強く勧められています。さらに、流行の中心は予防接種歴が無い、あるいは不明の 20～40 歳代男性であるため、流行の抑制には男性の予防接種も重要です。予防接種の助成(4月22日～9月30日)が実施されています。

風疹流行および先天性風疹症候群の発生抑制に関する緊急提言

<http://idsc.nih.go.jp/disease/rubella/rec200408rev3.pdf>

横浜市感染症臨時情報:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/idsc/rinji/>

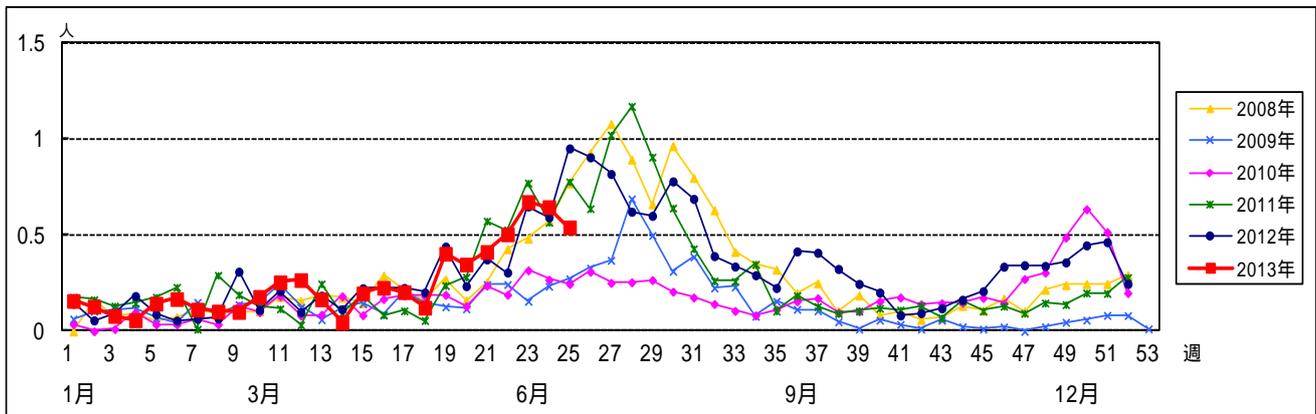
横浜市の風しん予防接種助成の詳細(横浜市保健所:緊急風しん対策について)

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/hokenjo/genre/kansensyo/vaccination/rubella.html>

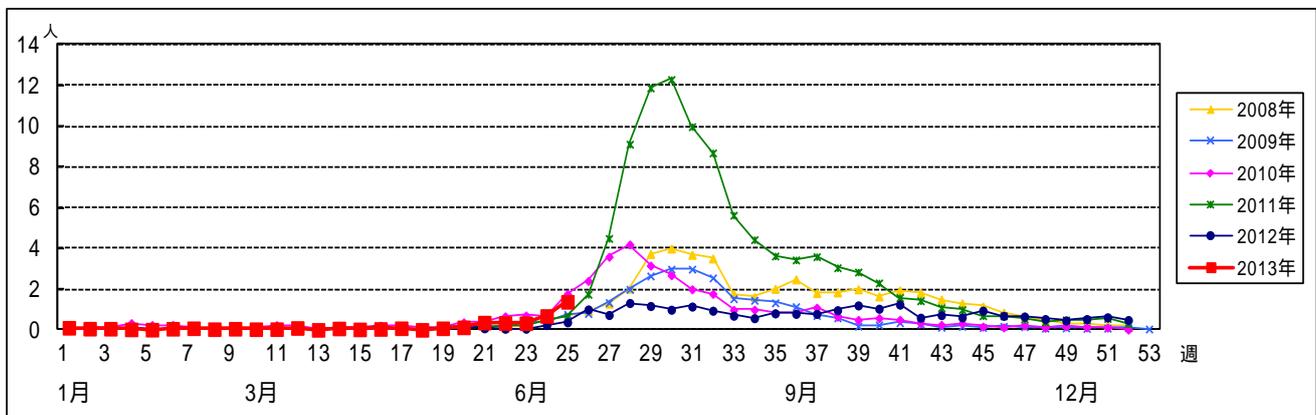
## 定点把握の対象

- 1 **咽頭結膜熱:**市全体で第 23 週 0.67 とやや増加していましたが、第 25 週 0.54 と減少しました。ただ、例年夏季に流行する疾患なので注意が必要です。予防対策は、うがいや手洗いが重要です。また、プールの前後はシャワーをよく浴びるようにしましょう。

平成 25 年 週 - 月日対照表	
第 22 週	5 月 27 ~ 6 月 2 日
第 23 週	6 月 3 ~ 9 日
第 24 週	6 月 10 ~ 16 日
第 25 週	6 月 17 ~ 23 日



- 2 **手足口病:**第 25 週は市全体で定点あたり 1.40 と、やや報告数が多くなってきました。例年これからの時期に流行するため、今後の注意が必要です。



- 3 **性感染症:**5 月は、性器クラミジア感染症は男性が 17 件、女性が 12 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 6 件、女性が 8 件です。尖圭コンジローマは男性 6 件、女性が 2 件でした。淋菌感染症は男性が 9 件、女性が 0 件でした。
- 4 **基幹定点週報:**マイコプラズマ肺炎では第 22 週 0.75、第 23 週 1.33、第 24 週 1.00、第 25 週 0.00 でした。以前に比べ落ち着いています。無菌性髄膜炎、細菌性髄膜炎、クラミジア肺炎の報告はありませんでした。
- 5 **基幹定点月報:**5 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 3 件が報告されました。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>